

インマヌエル中目黒キリスト教会 2017年7月16日聖日第2礼拝

ヨハネの手紙からのメッセージ

「神の子としてのきよい生活」

ヨハネの手紙第1

3章3節～12節

梅田昇牧師

聖書朗読

新約聖書

ヨハネの手紙第 1

3章3節 ~ 12節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています

第二版の聖書は 428 ページ

第三版の聖書は 468 ページ

- 3 キリストに対するこの望みをいただく者はみな、キリストが清くあられるように、自分を清くします。
- 4 罪を犯している者はみな、不法を行っているのです。罪とは律法に逆らうことなのです。
- 5 キリストが現れたのは罪を取り除くためであったことを、あなたがたは知っています。キリストには何の罪もありません。
- 6 だれでもキリストのうちにとどまる者は、

罪を犯しません。罪を犯す者はだれも、キリストを見てもいないし、知ってもいないのです。

7 子どもたちよ。だれにも惑わされてはいけません。義を行う者は、キリストが正しくあられるのと同じように正しいのです。

8 罪を犯している者は、悪魔から出た者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。神の子が現れたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです。

9 だれでも神から生まれた者は、罪を犯しません。なぜなら、神の種がその人のうちにとどまっているからです。その人は神から生まれたので、罪を犯すことができないのです。

10 そのことによって、神の子どもと悪魔の子どもとの区別がはっきりします。義を行わない者はだれも、神から出た者ではありません。兄弟を愛さない者もそうです。

11 互いに愛し合うべきであるということは、あなたがたが初めから聞いている教えです。

12 カインのようであってははいけません。彼は悪い者から出た者で、兄弟を殺しました。なぜ兄弟を殺したのでしょうか。自分の行いは悪く、兄弟の行いは正しかったからです。

説 教

ヨハネの手紙からのメッセージ

「神の子としてのきよい生活」

ヨハネの手紙第 1

3 章 3 節 ~ 12 節

梅田昇牧師

ヨハネの手紙第一 3章の内容：

1. 神の子とされた事実(1-2節)
2. 神の子としてのきよい生活(3-12節)
3. 神の子としての兄弟愛(13-20節)
4. 神の子の祈り(21-24節)

今朝、

「神の子としてのきよい生活」
という題で、神のことばをお伝えしたい。

・ 神の子に求められるきよい歩み
(3 ~ 6 節)

A . 罪のないきよいキリスト (3 節)

B . 人間の罪の現実 (4 節)

C . キリストによる罪の除去と解決 (5 節、 8 節)

・ 神の子に求められる義の実践 (7 ~ 9 節)

A . 義とされた信仰者 (7 節)

B . 信仰者の義の実践 (7 節)

C . 信仰者の義の実践の道 (10 節)

・ 神の子に求められる愛の実践 (10 ~ 12節)

A . 愛の教え (11節)

B . 愛の模範 (16節)

C . 愛の真逆の姿 (12節)

カインの例、妬みと怒り、憎しみ。

結論 .

主の恵みによって、神の子、神の家族の一員とされたことはすばらしい特権。

信仰者は神の子にふさわしい歩みを期待されている。

主の恵みに信頼しつつ、主の愛を持って、歩ませて頂きたい。